



神殿再建④

シリーズ～築く～

2010/7/25



奇跡的に適った帰国

- バビロン捕囚からの帰還
 - 神殿再建
 - エズラの帰還
- ネヘミヤに知らされた祖国の惨状
 - ネヘミヤは捕囚民であったが献酌官だった
- 祈りによって奇跡的に適った帰国
 - 主の見えざる御手が王の心を動かした



城壁の再建宣言

- 総督たち(ホロニ人サンバラト、アンモン人の僕トビヤ、アラブ人ゲシエム)による妨害
 - 「わたしたちを嘲笑い、さげすみ、こう言った。『お前たちは何をしようとしているのか。王に反逆しようとしているのか。』」<2:19>
- ネヘミヤは神が完成させて下さると反論した
 - 「そこでわたしは反論した。『天にいます神御自ら、わたしたちにこの工事を成功させてくださる。その僕であるわたしたちは立ち上がって町を再建する。』」< 2:20 >



工事開始

- 大祭司から女性まで、皆で力を併せ、分担して城壁の再建を開始した。
 - 一部工事に携わらなかった貴族たちもいた
- 敵たちは頻繁に訪れてはバカにした
 - 「狐が登るだけで崩れてしまうだろう。」
- ネヘミヤは祈りながら工事を続けた
 - 半分まで築いた



試 練

- 敵たちは武力行使に打って出た
- 民の士気は下がり、弱音を吐いた
 - 「もっこを担ぐ力は弱り／土くれの山はまだ大きい。城壁の再建など／わたしたちにはできません。」<4:4>
- 戦闘員を配置し、武器を持ちつつ作業した
 - 「城壁を築く者、もっこを担いで運ぶ者は、一方の手で作業をし、もう一方の手には投げ槍を取った。」<4:11>



新たな試練・ネヘミヤの献身

- 指導者が土地を担保に金や穀物を民に貸していることが発覚した
 - ネヘミヤは怒り、これを帳消しにさせた
- ネヘミヤ自身は12年間一切報酬を受け取らず、むしろ毎日ごちそうを振る舞った
 - 「神よ、わたしがこの民に尽くしたすべてのことを快く心に留めてください。」<5:19>



最後の試練・完成

- 敵たちは頻繁は、ネヘミヤを呼び出して暗殺しようとした
- 52日という短期間で城壁が再建された、敵は面目を失った
 - 「わたしたちの周囲にいる諸国の民も皆、恐れを抱き、自らの目に大いに面目を失った。わたしたちの神の助けによってこの工事がなされたのだということを悟ったからである。」<6:16



築き上げるために

- 忍耐する(最後まであきらめず続けること)
 - 「神の御心を行って約束されたものを受けするためには、忍耐が必要なのです。」<ヘブライ10:36>
- 絶えず祈る
 - 責任者は神様であるので...
 - 「わたしたちの神よ、お聞きください」<3:36>
- 勇気を出す
 - 「あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。」<ヨハネ16:33>



神の御業・人間の仕事

- 神の御業に人間はどのように関わるのか
- 人間の仕事
 - 祈り続けるが、**祈るだけではダメ!**
 - 与えられた能力を100%発揮し、努力する
- 必ず試練がやってくる
 - 計画倒れ・妨害・挫折・失敗……
 - 弱音を吐かず、文句は神様に言う!
- 最後は神の栄光が顕される